

兵庫 県  
保険 協  
医 会

西宮 支部  
芦屋 ニュース

No. 376  
2025・7・25

発行

兵庫 県 保 険 医 協 会 西 宮 ・ 芦 屋 支 部  
〒692-0832  
西 宮 市 甲 塚 園 一 一 五 法 責 皮 膚 科 内  
兵 庫 保 険 医 協 会  
2078 (693) 1-801

# 第1回 医療活動つづげたい勉強会

## ベンダーと取り組む正しい医療DXとの向き合い方(感想文)

### 医療機関・患者にとってのメリットとは

6月21日(土)、西宮市民会館にて第1回医療活動つづげたい勉強会を開催。ベンダーの一つである株式会社ジェイ・メディック代表取締役の酒井陽一郎氏が「ベンダーと取り組む正しい医療DXとの向き合い方」をテーマに講演を行い、12人が参加した。また、西宮市・高井小児科の高井徹先生が「当院における医療DX対応」できるころからやっていきましよう」をテーマに報告、西宮市・橋野医院の橋野盛彦先生が「電子カルテ」義務化や今後のデジタル化への不安について発言し、参加者で疑問点や今後の取り組みで不安に思うことなどを交流した。



高井徹先生は「メリットに  
高感されるものが良い」と説明



橋野盛彦先生は電子カルテ  
義務化への不安を語った

政府は医療のデジタル化を進めている。今回西宮・芦屋支部で会員にデジタル化などについてのアンケート調査をしたところ、強引なデジタル化についていけず、閉院を考えているとの回答が3割をこえていた(裏面に詳細)。

そこで、大阪協会で開催された、医療DXなど診療と直接関わりがないが、今後医療機関が対応を迫られることへの対応を考える「やめてたまるかプロジェクト」での講演が好評だった株式会社ジェイ・メディック代表の酒井陽一郎氏をお呼びして、医療DXとは何か、医療者側の利点は何か、政府の進めるDXの問題点は何かを聞いた。

その主目的は、医療情報の共有と活用である。医療情報の中で、まずオンラインレセプト送信が始まった。つぎに健康保険資格情報をオンラインで確認(オン資)できることになった。これらは医療機関にとって業務効率上がり、利点が多い。これを利用する



酒井陽一郎さんが国の目指す  
医療DXについて解説した

ことで、資格不備の返戻が減って保険者と医療者双方にとって有意義だと説明された。ただし、その進め方があまりにも強引かつ拙速であるとも追加した。

さらに診療情報を電子化するために2030年までにすべての医療機関にカルテの電子化を義務化するとの方針が示されたが、これは問題が大きい。すでにある紙カルテ情報の電子化の間、キーボード操作への問題など多くのハードルがある。費用負担も大きい。

西宮市医師会理事でIT関係を担当されている高井徹先生は、とりあえずオン資導入はメリットがあるので、そこから始めてほしいと説明した。ITに不慣れな橋野盛彦先生は、電子カルテの移行については、キーボードが苦手なので、音声入力できないかと質問した。酒井さんは、生成AIを活用した音声入力システムは電子カルテ入力の強力な助っ人になると説明した。

いまも紙レセプト、紙カルテで診療を続けられている法西浩先生は、ついていけないと嘆いていた。好むと好まざるとにかかわらず、時代の電子化の波は止まらないが、メリットあるものから導入していくのが正しいだろう。

【西宮市・半田医院 半田 伸夫】

### 世話人会だより

西宮・芦屋支部は6月27日(金)に西宮医療会館で世話人会を開催。4人が参加した。

【I. 最近の診療経験の交流】  
・保険証廃止・マイナ保険証について  
・物価高騰対策について

【II. 予定・企画】  
①被災地交流/物産・物品展(6・28)  
②リスクマネジメント研究会(8・23)  
③支部総会・記念講演(10・18)

【III. 報告】  
①医療活動つづげたい勉強会(6・21)

【III. その他】  
①「阪神・淡路大震災30年の集い」  
書籍刊行について

【IV. 協会・保団連行事】

①第57回総会(6・15)  
②国際部 Medical English 拡大版(7・21)

\*世話人会の日程は毎月第4金曜日です。  
次回は7月25日(金)に予定しております。  
支部についてのご意見や企画案などをお寄せください。

### 西宮・芦屋支部 リスクマネジメント研究会

1415名の医師・歯科医師による  
オンライン資格確認義務化の違法性「確認訴訟」とは

日時 2025年 8月23日(土)16時~  
会場 兵庫県保険医協会5階会議室

講師 いつき会ハートクリニック 佐藤 一樹 先生  
(「オン資訴訟」事務局長、東京保険医協会理事)

司会 西宮市 半田医院院長 半田 伸夫 先生

Zoom視聴は以下のURLか右の二次元コードからお申し込み可能です  
<https://bit.ly/430ltC8>



来場申込・お問い合わせは協会事務局(078-393-1840)  
伊地知・山田まで



岩手県宮古市の「かけあしの会」が南部せんべいや出し昆布など東北の名産品を販売（林医院）



ウクライナ出身アーティストの作品、能登町の魚網バッグの販売のほか、協会・支部の取り組みの展示も行われた（広川内科クリニック）

『阪神・淡路大震災30年、南海トラフ巨大震災に備える 東日本・熊本・能登半島―大地震を経て』発刊のお知らせ



発行 クリエイツかもがわ 2,400円+税（送料込）

1月18日に開催した「阪神・淡路大震災30年の集い」の内容を中心に、これまでの震災の様々な知恵と教訓をまとめた書籍です。支部会員の先生に1冊謹呈致します。自費出版となりますので、1口20000円の募金にご協力いただけましたら幸いです。

【西宮市・林医院 林功】

今後も継続的な支援活動に尽力してまいります。

東北・能登の被災者と心ひとつに

第17回 被災地交流／物産・物品展

西宮・芦屋支部は6月28日、西宮市・広川内科クリニックと林医院にて第17回「被災地交流／物産・物品展」を開催。東日本大震災の被災地である岩手県宮古市の「かけあしの会」の物産品に加え、昨年1月に震災に見舞われた能登半島から届けられた漁網を編んで作ったミニシヨルダーバッグ、ポーランドに避難しているウクライナ被災市民の作品の展示・販売なども行い、両会場とも多くの市民で賑いを見た。

漁網のミニシヨルダーバッグは奥能登に位置する能登町の住民の方々が、使わなくなった漁網を手作業で編んで作ったもので、石川県七尾市・ねがみみらいクリニックの根上昌子先生を通じて提供を受けた。水にも強く頑丈であると好評で、両会場いずれでも即日売り切れとなった。また、ウクライナ被災市民の作品は、多くの被災市民が避難しているポーランド在住のジャーナリスト丸山美和さんから提供を受けた。

広川内科クリニックでは蒸し牡蠣の実演販売や、協会・支部の被災地訪問の記録などの展示も行われた。前回は引き続き会場提供いただいた林功先生の感想を掲載する。

「東日本大震災・能登半島地震第17回被災地交流／物産・物品展」には、多数の皆様にご来場いただき、厚く御礼申し上げます。広川先生のご指導のもと西宮市内の2会場で同時開催し、「かけあしの会」による岩手県宮古市の物産・物品販売や、能登半島の物産販売を行いました。兵庫県保険医協会のご支援により、被災地の復興支援に繋がる有意義な交流の場を提供できましたことを心より感謝申し上げます。

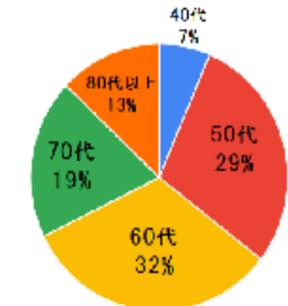
「医療活動つづけたい勉強会」事前アンケート(結果)

西宮・芦屋支部は「医療活動つづけたい勉強会」開催にあたり、「医療DX」への対応状況などを尋ねるアンケートを行った。結果を報道する。

期間 2025年5月10日～2025年6月1日  
対象 支部会員809人(医科566人、歯科243人) 返送31件(うちweb回答14件)  
内訳：内科・小児科系 21件(67.7%)、外科 3件(9.7%)、整形外科 1件(3.2%)、精神科・心療内科 1件(3.2%)  
皮膚科 3件(9.7%)、麻酔科バインクリニック 1件(3.2%)、歯科 1件(3.2%)

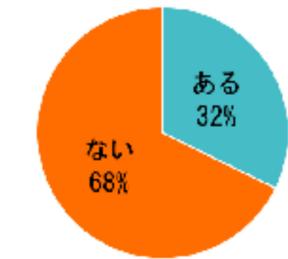
問1 先生の年齢は以下のどの区分に該当しますか

- 30代 0件(0.0%)
- 40代 2件(6.5%)
- 50代 9件(29.0%)
- 60代 10件(32.3%)
- 70代 6件(19.4%)
- 80代以上 4件(12.9%)



問2 最近「閉院しようか」と考えたことは

- ある 10件(32.3%)
- ない 21件(67.7%)



問3 『ある』と回答された先生にお聞きします。その理由と考えられる事項を記載ください

- ・パソコンの買い換え、ソフトの買い足しなどで費用かかりすぎ、支払いができない
- ・2030年に電子カルテに移行するようになるため
- ・電子カルテ義務化への拒否感。最近の厚労省の強引なやり方（マイナ保険証、診療報酬の抑制、医師に対するネガティブな世論形成など）にうんざり
- ・患者さんへの対応よりも厚生局への対応が煩雑至極。役人共のために作業を強要されている感じ。
- ・人手不足と収入減
- ・在宅患者の集客不足。せっかく努力して在宅患者に対して特別な配慮をしても、緊急の入院や家族の事情での中断、在宅担当医が変わるなどもあり診療報酬は数年前の約半分近くまで落ちている。

問4 全ての先生にお聞きします。最近の診療等で“やってられない”と感じる事項にチェックください

